

アマチュア無線の実演（公開運用）と連絡会の紹介ビラの配布などのPR活動を行いました。

J A 1 B W A局のHFワイヤーアンテナ、J K 1 C Z D局の6mGPなどの本格的なアンテナの他、J H 1 D Y W局のゴミトレイアンテナや、J K 1 P I K局の背負子改造移動運用無線装置など、各局の工夫による機器が人目を引いた様で、船橋市長をはじめ、大勢のギャラリーが立ち寄り盛況でした。

また、手空きの会員によるビラの配布も、北習志野駅近くまで足を伸ばし、300枚用意したビラも、たちまちなくなりました。

当日の参加局

JA1QC, JA1BWA, JA1IWO, JA6AZE, JH1DYW,
JH1GEN, JH1TVY, JG1EDX, JG1DVY, JK1CZD,

JK1PIK, JL1GYB, JM1MUA, JN1QKR, JS1IWA,
7L3UQW, 7N4NBV



JN1QKR

J R 1 Y U X 役員改選

船橋市役所アマチュア無線クラブ（J R 1 Y U X）の2004年度役員が改選されました。

会長は山崎俊輔氏が就任されました。従って連絡会副会長（YUX側）は、J J 1 G R M 山崎さんが引き続き担当されます。

J K 1 P I K

J J 1 Y N A 船橋市ボランティアに登録

船橋駅南口に昨年完成した、フェイスビル5階に開設された「市民活動サポートセンター」に、船橋市アマチュア無線クラブJ J 1 Y N Aが、ボランティア団体として登録を済ませました。

これにより、同センターは自由に利用でき、一寸した小人数の打ち合わせにも使える他、レターケースを利用すれば、お知らせや配布物、他団体へのPRなどにも使うことができます。

また、ロッカーの使用申し込みもしました。抽選で当たれば器材や用具を保管することも出来ます。

開館時間は、年末12月29日～1月3日を除き年中無休、平日は9時～21時、祝祭日は9時～17時

詳しくは船橋市ホームページへどうぞ

URL <http://www.city.funabashi.chiba.jp/jichishinko/jichisinko/saposen.htm>

J K 1 P I K

入会 退会 その他

新入会員 2004年1月 J F 1 O N Q 山崎さん（南部湊町）今後の活躍を期待します。

* 訂正 前号でご紹介した白根岩夫さんのコールサインに誤りがありました。

誤 JA6FET⇒正 JF6FETご迷惑をおかけしました。謹んで訂正します。

J K 1 P I K

第2回ネットワーク構築テスト結果

12月21日実施したネットワーク構築テストは師走を控えてポチポチ忙しくなるのか参加局はやや少なく。提出ログによると19局の参加で、144・430・1200の3バンドで行われました。

ログ提出率は84.2%で前回より若干下がっております。

参加局=JA1QC、JA1EDJ、JA1XQC、JA6AZE、JH1APY、JH1DYW、JH1GEN、JH1TVY、JF1XPH、JG1EDX
JG1DVY、JL1GYB、JK1PIK、JS1IWA、7L1TTH、711FYS、7M2AWK、7L3UQW、JA1OQX

J A 1 O Q X

第3回移動運用と第4回技術講習会

今年度第3回の移動運用は、第4回技術講習会と合わせて、2月22日に実施しました。

技術講習会は、柏市豊四季の自衛隊柏送信所の送信用アンテナ群の見学を行いました。

9時に白井市役所に集合した各局は、一路16号を柏インター方向に進み、若柴交差点を左折、約2kmのスーパーの屋上に駐車したところ、目前に送信所のアンテナ群が一望出来、感激しました。

自衛隊の施設としては、周辺が開放的で金網越しに敷地内が見渡せました。

見たところ、大きく多角形的にアンテナ(ワイヤー)が張られ、全方向に対応している様子でした。また、大型のログペリ型アンテナは、エレメントが20本もありHF~VHFまで対応し、基部の大型のローテ

ーターで25~30m/hのアンテナを振り回す豪快なもので、皆びっくりしました。このほかに、赤白のマ

イロウエーブタワーが目立ちました。

JA1VRZさんによると、送信機のファイナルは管球で、kW級であると想像されます。

今回は、自衛隊北総基地所属のJA1JEO菅野さんが前もって送信所に了解を得て下さったので、とがめられることなく、一巡してエレメントやファイダーの構造、ネットワークなどをゆっくり見学することが出来ました。

移動運用は、恒例の手賀沼に現着したものの、折りからの強風で砂塵がひどく、再移動して風の

弱いところを見つけて、早速炭を起こして食事の準備に入りました。今回は、趣向を変えてバーベキューで、ステーキ、焼肉、焼野菜と進み、最後はたくさんの焼きそばで仕上げとなり、皆で舌つづみを打ちながら、先ほどの見学会の内容を話題に大いに楽しみました。

肝心の移動運用は、強風のため、アンテナ設置どころではなく(言い訳)ほとんどの局は、器材の往復運搬をただけで終わりましたが、久しぶりに集まって、一緒に食事をしただけで、皆満足して帰路につきました。JA1JEOさんには紙上でお礼申し上げます。

参加局

JA1QC、JA1VRZ、JA1OQX+2nd(JL10JU)、JL1GYB、JH1DYW、JG1EDX、ゲスト JA1JEO、JG1DVY、JF1XPH、JS1IWA、JN1QKR、JK1PIK、JK1TUJ、JH1GEN、JA6AZE



J A 6 A Z E

防災一口メモ

◆◆◆火元別初期消火のコツ！

- 1、油なべに火がついたときに水は厳禁。基本は消火器での消火です。
消火器がない場合は、ぬらした大きめのタオル等をかけ、空気を遮断します。
(注意点は、鍋に布が焦げ付きますので、完全に消火したと思っても空気に触れたとたんにより再燃焼の恐れと共に、焦げ付いた布が、鍋の縁にひつつき、ひっくり返してしまうと大変なことになる。))
- 2、電気製品は感電の危険を避けるため、コードをコンセントから抜いてから消火します。
- 3、衣類に火が燃え移ってしまった場合は、ころげ回って消火。髪の毛ならタオルか衣類(化学繊維以外)をかぶります(酸素を遮って消

防災関係資料の入手先

<http://allabout.co.jp/family/bosai/closeup/CU20031013A/index.htm>

- 火)。
- 4、風呂場などの密室はいきなり戸を開けるのは厳禁。ガスの元栓を閉め、徐々に戸を開けて消火します。
- 5、まだ燃え初めの時は、カーテン・ふすまをひきちぎり、けり倒してでも火元を天井から遠ざけます。
火災の初期消火は、最初の1分間が勝負です。天井に燃え移るまで、だいたい3～5分間。この間にあわてず勇気を持って火を消し止めることが大事、天井に移った火は、もう手がつけられないから、すぐ避難して、あとは消防の人達にまかせましょう。

J S I I W A

第4回ネットワーク構築テストのお知らせ

本年度第4回目のネットワーク構築テストを、下記要領で実施致しますので、より多くの皆様の参加とログの提出を期待します。

毎回のことですが、ログの提出が無い方があります。構築テストの参加はログの提出が終わって終了します。

折角QSOしたなら中途半端はやめて、必ずログの提出をお願いします。

- 1) 参加資格：市内在住の当連絡会員局、但しYUX会員局は市外在住局も可
- 2) 日時：平成16年3月21日(日)
JST 10:00～11:00
- 3) 場所：自宅、近隣指定避難所、その他
- 4) 設備：固定機、ハンディ機、車載機
- 5) 周波数：432.76±40KHz, 1295.76MHz, (50, 144については適宜設定のこと)
- 6) 得点：自宅固定器からは、1交信につき1点、屋外でハンディ機からは1交信につき2点、

屋外ハンディ機からの運用で自地区および隣接地区以外の地区、ならびに市外在住のYUX会員との1交信に対し3点

- 7) 部門：50, 144, 430, 1200MHz (バンドが異なれば同一局OK)
- 8) ログ提出先：担当JA1OQX阿部幸司 郵送、FAX, E-mail:jalox@jarl.com
- 9) ログ提出期限：平成16年4月15日 必着
- 10) 交信方法：

①呼び出しはCQフェアネットを前置する
自局のコールサインはフォネティクスコードを使用する

②応答は信号レポート(メリット)および自局の運用地区名+町名+指定避難所名を告げる

*ネットワーク構築テストは、アマチュア局なら皆一度は経験がある、コンテスト形式を用いた、楽しみながら出来る交信訓練です。また自宅や担当避難所から

の交信可能範囲を把握するなどの、有事に備えてのデータを得ることも目的のひとつです。

ネットワーク構築テストは、唯一賞品の出るイベントですので、是非参加してみませんか？

J A 1 O Q X

編集後記

今回の編集は焦りました。保存したはずのデータが消滅したのに気がついたのは、編集前日です。大慌てで再度データ入力しました。電子ファイルは目に見えないので、慎重に扱きましょう。たまたま、急いでいると、こんなことになります。ちょうどこの時は、拾ったパソコンの再生作業中でしたから、どこかで間違っただけだったようです。欲張って、2台も再生しようなんて考えていたせいか、罰でも当たったのでしょうか？

毎回のことですが、編集の時期になると慌ただしい日々になるようです。

防災対策でも、言えることですが、もしものことを考えておいてほしいものです。

備えあれば、憂いなしの必要性をしみじみと実感しました。

J S 1 I W A

発行：船橋市アマチュア無線非常通信連絡会・船橋市アマチュア無線クラブ J J 1 Y N A

「連絡会ニュース」編集部